



# CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

July 2011

## ご挨拶



会長  
井 汲 憲 治

### 未曾有の東日本大震災！

3月11日の東日本大震災は、東北地方や関東地方のみならず、日本の経済や様々なシステムに大きな影響を与えました。当会におきましても、幸い人命に係わる被害がなかったものの、宮城県の会員の診療施設や自宅に甚大な被害がありました。被災された先生方には、一日も早く日常の生活に戻ることが出来る様つつしんでお祈り申し上げます。

会務に関しましては、震災の影響で日程の変更等がありましたが、関西支部の研修会はもちろんのこと、認定講習会を始め、特別研修会においては通常の開催とすることができました。また、先日は日先研との第1回の合同研修会を開始しましたが、フレンドリーで魅力ある研修会であったと思います。当会を代表して発表された先生方はご苦労さまでした。

今年も例年同様に全員発表研修会が熱海で開催されます。参加者は新人発表との合同開催となり、インプラントと歯周治療に関する興味深いシンポジウムも開催されます。発表者は過去最高130名以上となっておりますが、これは、我々のインプラント治療に対する情熱や向学心がまったく影響をうけていないことの証であります。

ベテランも新人も分け隔てなく発表時間が同じであり、発表しない者は参加できない“全員発表研修会”は全国的に最もアクティブで熱心な研修形式であります。“インプラント道場”とっていいかもしれません。

夜には、一転して親睦を深める場となります。今年もインプラント臨床を語り合い大いに盛り上がりましょう。普段の疑問を内輪の会合ですので諸先輩に聞けるいい機会だと思います。時間の許す限りインプラントの臨床に浸ってください。

最後に、本会主管のインプラント学会の第30回関東・甲信越支部学術大会(2/12-2/13、パシフィコ横浜)は成功裏に開催することができました。これも田中実行委員長をはじめとする、実行委員全員の1年半にわたる綿密な準備と、広く参加者を集めていただいた会員各位のご努力の結果だと思います。本当にご苦労様でした。

大会テーマ“インプラントの経過を振り返り、未来を考える”は十分に達成できたと思います。今回の支部大会におきましては、実に多くの先生方から企画や内容に対してのお褒めの言葉を賜りましたことを申し添えさせていただきます。

今年後半も名古屋でのインプラント学会や、東京と大阪での研修会が目白押しですが、一人でも多くの会員の参加を祈念しております。